

吹田西ロータリークラブ

阪神大震災によりご両親を失った被災遺児に対して、RI2660地区が一致して「里親クラブ」活動を始めてから12年が経過しようとしています。当時、中学2年生だった名城直樹君の神戸市東灘区の自宅は全壊してしまい、弟の祐次君と2人だけが生き残ったのです。

吹田西RCはRI2660地区・阪神大震災長期援助委員会の呼びかけに応じ、「里親クラブ」として、持続性があり金銭のみでなく心の交流も加味した援助を行なってきました。(ちなみに、弟の祐次君は守口RCが里親クラブです。)

悲しみを糧に努力を重ね成長する名城直樹君に、毎月の援助のほか高校入学・卒業・そして就職と、私たち吹田西RCは親代わりとして期待し心配もしながら見守ってき

ました。就職は地元で家屋を建設する会社で、私たちの心は痛みまた勇気づけられもしました。

そんな彼から、うれしい便りが届きました。「私たち結婚しました。二人で力を合わせてがんばります。これからもよろしくお願いたします。」さらに、平成19年9月5日、「Happy New Baby」赤ちゃんが生まれました。そんなうれしい便りが届いたのです。

あの、おどおどしていた中学生の遺児がいまやお父さんになって立派に家庭を築き社会で活躍しているのです。なんとうれしいことでしょう。ロータリークラブの奉仕活動は多彩ですが、私たち自身も喜びを実感できた「里親クラブ」活動に心から感謝しております。